

デスク周り環境の紹介動画（デスクツアー動画）撮影マニュアル

<作成目的>

弊社運営の Youtube チャンネル動画用の素材となります。様々な方のこだわりのデスク環境を紹介する企画となります。

<作成物>

- ・ご自身がお仕事やプライベートで使用している**デスク周りの紹介動画映像素材**です。
- ・顔出しなし、音声なし、編集なしの動画生素材での納品となります（※アイテム紹介時に手先だけなど首から下が映像に映り込む可能性がございます）。
- （※収録時に音声で説明を入れていただいても構いません。撮影そのものもやりやすくなりますよ。完成動画からは素材のオリジナル音声は削除されますのでご安心ください）。
- ・全体尺はおよそ20分~40分で収まると思います。

<作成事例イメージ>

下記のような動画を作成していきますので、イメージとして参照してください。

※当方運営の動画ではございません。

※冒頭、ラストのフリートーク部分は事例に含まれません。

<https://www.youtube.com/watch?v=JHEWE5h2dVU&t=4s>

<推奨作成機材、画質>

- ・スマホはできるだけ高画質動画をお願いします。（**スマホは横向き動画撮影で**）

→ 横向き動画撮り方 <http://f-gear.co.jp/toolcp/2016/03/01/post-208/>

- ・デジタル一眼レフ OK、コンデジ OK（GoPro などアクションカムは不可です）

解像度	通称
3840×2160 (2160p)	4K
2560×1440 (1440p)	WQHD
1920×1080 (1080p)	フルHD、フルハイビジョン、2K

画質は上記設定のどれかをお願いします。アスペクト比は16：9です。

8Kまでのスペックは不要です。

<撮影手順>

大きく分けて①**デスク環境の全体を捉えた映像** ②**個別のアイテム紹介映像** の2種類のパートになります。②個別のアイテム紹介映像は、撮影するアイテム数によって報酬が変化します（※最低7アイテム紹介してください。10アイテム以上ご紹介いただければ報酬に1000円追加させていただきます）。

① 「デスク環境全体を捉えた映像」（参考撮影尺…1～3分程度）



紹介するデスク環境全体をオーバービューします（ゴミや動画に無関係なものが映らないように予め整理をお願いします）。下がり目の位置からデスク環境全体がカメラの中にフレームインするようにしてください。最初は机全体+椅子が収まる構図がベストです。

そのまましばらく静止画のように動かないで撮影したら、すこし移動しながら角度を変えて撮影していきます。机全体のショットに移行していくのもありでしょう。



←作業環境全体の写真
※椅子も映るように斜め上からお願いします。



←椅子に座った視点の写真

様々な角度からカッコよく撮影してみてください。ご自身の最もこだわりの部分、工夫、アイテムが撮影漏れにならないように注意です。可能なら部屋全体のショットも収めます。

事例動画のように、全体をゆっくり動きながら、あなたのデスク環境にはどういったアイテムが設置されていて、どういう雰囲気をかもしだしているのかが一瞥できるようにしてください。決して激しいカメラワークは不要です（むしろ手ブレがおきて不採用の原因になってしまいます）。ゆっくりゆっくり動きましょう。

上記の尺（1～3分程度）は参考程度ですので、様々な角度からゆっくりゆっくりした動きで全体がわかるように撮影してみてください。無言で撮影しても OK ですが、こだわりや注目ポイントをしゃべりながら撮ると撮影意図が理解しやすいです（音声は後で削除します）。

あなたのデスク環境の雰囲気と魅力が十分撮影できたようならば、次に進みます。

② 個別のアイテム紹介映像（参考撮影尺…アイテム1つにつき@1～3分程度）



個別のアイテム紹介撮影に移ります。定番は机、椅子、モニター（定番3セット）、PC、ヘッドホン、キーボード、マウス、アーム、時計、文具、スピーカー、電源、配線、ハブ、収納、オーガナイザー、パームレストなど…あなたならではのこだわりアイテムを自由に紹介してください。こちらは三脚等でカメラを固定したまま、様々な角度で撮影するのがベターです（カメラマンに撮ってもらう方法もあります）。

商品そのものに特徴がある（珍しい、安くてコスパいい、高価だ、面白い、便利だ等）ものがベストですが、一般的なものを一工夫して面白く使っている場合は、100円ショップのアイテムだって十分魅力的になります。**アイテムは合計で最低7個ご紹介ください（10個以上撮影していただければ報酬に1000円上乘せします）。**

アイテム撮影は、まず「ブツ撮り」。机の上や設置されている場所からアイテムを動かさず、そのままカメラを三脚等で固定して定点撮影します。

次に「使用シーン」が撮影できるものはこれを抑えます。例えばキーボードなら打鍵をしているシーン、動かせるアームなら上下左右に動かしてみる、ランプなら電源をオン・オフしてみる、素材に特徴があるなら指先で叩いて軽く打音を出してみるなど、**具体的な動きでアイテムの特徴や使用上の工夫、アイデア、おすすめポイントなどを紹介します。**やはり、注目ポイントをつぶやきながらの撮影がおすすめです（音声は後で削除します）。

使用シーンに指、腕、上半身等が映り込むことは問題ありません（そうでないと撮影が難しいかもしれません）。ただ、ご自身の顔がモニターなど鏡面状のアイテムに写り込まないようお気をつけください（万が一写り込んでいても当方でモザイク・ブラインド処理いたします）。**使用シーンは手でアイテムを動かすため、やはり三脚があったほうがいいです。**

この「ブツ撮り」と「使用シーン（機能撮り）」がセットで、1アイテムの撮影が終了となります。うまくできたら、この調子でどんどん他のアイテムも同じように撮影していきましょう。

③ データシートに撮影内容を記入

撮影終了後は、ご紹介していただいたデスク環境のコンセプトや、アイテムの正確な情報を視聴者さんに伝えるために、**別紙のデータシート**にアイテム等の情報をご記入ください。

特に収録時に音声で説明を入れていない場合は、このデータシートのみがあなたのデスク環境の魅力を伝える鍵になりますので、**必ずご記入をお願いいたします。**

シートご記入が終わりましたら業務終了です。

ギガファイル（<https://gigafile.nu/>）経由でデータシートと撮影素材をお送りください。

（送信先：yoshiike@mbc-pr.com）

送付後はクラウドソーシングサイトからご連絡ご一報をお願いします。

お疲れさまでした。

<撮影時のポイント>

手ブレしないように手ブレ補正機能がついてるもの（iPhone12以降等）やジンバルなどお持ちの方はご利用頂き、動画がぶれないようにして頂けると尚いいかと思えます。

無言で進めても問題ないですが、アイテム等の説明を口にしながら撮影すると、撮影意図が伝わりやすくなり進行がはかどります（音声は消すので上手に説明する必要はありません、ブツブツ呟くだけでも OK です）。

アイテム撮影時には三脚などでできるだけ固定して撮影した方が撮影も楽になり成果物もきれいに撮れます（※視聴に耐えられないレベルの手ブレは採用不可となります）。

<注意事項>

デスク周りの環境を今後変化させる予定がある場合、おおきな変化があった時に再度動画の作成依頼が可能ですので、その際には是非またご連絡ください。

尚、納品頂いた動画に関しては著作権が弊社に帰属することになりますので、予めご了承ください。上記理由により、納品物を別の発注者に二重譲渡したり、ご自身でウェブサイトや動画サイトなどにアップしたりすることは絶対にご遠慮ください。